

山田小学校再編に関する第3回保護者説明会

計画HP



山田小・胸上小
の再編HP



令和8年4月

玉野市教育委員会

前回説明会（3/23・3/24）等でのご意見・ご要望

【施設関係】

胸上小の放課後児童クラブについて、山田小と統合した場合、児童数が増えると思うが、教室は足りるのか。

現在、胸上小学校の放課後児童クラブは2部屋を使用し、79名の受け入れが可能な体制を整えています。令和8年度については、胸上小学校（31名）と山田小学校（20名）の合計で51名の利用が見込まれており、現時点では希望される全員の受け入れが可能です。

また、令和10年度の見込みとしては、児童数や高学年の退所傾向などを踏まえると、受入には十分対応できるものと考えています。

前回説明会（3/23・3/24）等でのご意見・ご要望

再編後の山田小は避難所としてどうなるのか。誰が鍵の管理をするのか。
サンマリン認定こども園の園児はどこに避難するのか。

再編後においても、引き続き山田小を避難所として活用します。

サンマリン認定こども園においては、山田市民センター又は山田小に避難することになります。

現在の避難所の運用状況

現在の山田地区の避難所は、山田市民センターと山田小の2カ所となります。大規模な地震発生時など緊急時には、山田市民センターが優先的に開設されることとなります。山田市民センターの収容能力を超える避難者が来られた場合に、山田小学校が開設されることとなります。

なお、今後、山田小の跡地利用が決定し、避難所として利用できなくなった場合には、新たに周辺の施設等を避難所として指定するなどの対応を行います。

【指定緊急避難場所】



優先的に開設される避難場所です。
緊急時、山田地区在住の市職員が鍵開け等を行います。

【指定避難所】



指定緊急避難場所の収容人数を超える場合などに開設される避難場所です。開設が必要になった場合は、市職員が速やかに現地へ急行します。

前回説明会（3/23・3/24）等でのご意見・ご要望

【教育環境関係】

統合により不登校児が増えると考えられるが、具体的にどのような対策を考えているのか。
また、別室登校や適応指導教室の設置などを検討してほしい。

教育委員会の基準では、胸上小において、子どもたちの長期欠席・不登校に対して、教職員が早期対応するよう校内体制を整えており、家庭とも連携しながら個別に支援を行ってまいります。

具体的には、

- ① 1日の欠席でも担任が必ず家庭連絡する
- ② 2日連続で欠席した場合は家庭連絡するとともに、場合によっては家庭訪問する
- ③ 3日連続で欠席した場合は必ず家庭訪問をする

など、初期対応を行っています。

担任は普段から児童一人一人との関わりを大切にし、些細な変化に気づけるよう注意を払っており、また、担任だけではなく、養護教諭やスクールカウンセラーも協力して支援していきます。

さらに、もしも教室に入りづらくなった場合には、一時的な支援場所として「自立応援室」という場所があります。ここでは、自分のペースでゆっくり勉強に取り組んだり、教育相談をしながら過ごし、教室復帰につなげていきます。

※ 自立応援室の支援員は、現在午前中のみの勤務、午後の対応については、学校と相談が必要

なお、適応指導教室（わかば教室）については、施設の老朽化やニーズを十分に把握した上で、現在、今後のあり方を検討しているところです。



前回説明会（3/23・3/24）等でのご意見・ご要望

学校の規模が小さくても、バスを使って学校間の交流授業を行ったり、遠隔授業を行ったりすれば統廃合しなくてもよいのではないか。

遠隔授業やバスを活用した交流は、補助的な取り組みとして一定の有効性があると考えています。しかし、教育委員会が推進する適正規模化は、「日常的に多様な他者と関わる環境」が子どもたちの健やかな成長に不可欠であるという考え方に基づいています。

そのためにも、このような「一時的な時間」ではなく「日常的な関わり」ができる適正規模化を進めることで、多様な視点に触れながら新しい人間関係を構築できる経験や学習活動の内容に応じた柔軟な集団編成などの効果が期待できると考えています。

前回説明会（3/23・3/24）等でのご意見・ご要望

再編後の安心できる教育環境を確保するため、山田小と胸上小のボランティア活動や地域活動は具体的にどうなるのか。

山田小・胸上小の両地域でこれまで行われてきたボランティア活動や地域活動は、子どもたちの安心と学びを下支えする不可欠な「地域の大切な教育資源」です。統合後も、それぞれの地域で培われてきた活動を尊重し、新しい学校の環境やニーズに合わせて最適なかたちで引き継いでいくことを基本としています。

ただし、学校の規模や日課が変わるため、現在と全く同じ形態での実施が難しい場合も出てきます。具体的な実施方法やルールづくりにつきましては、今後設置される準備委員会等の場で協議を重ね、子どもたちにとって最善の形、そして地域の皆様に無理のない形を一緒に検討・決定していきたいと考えております。



前回説明会（3/23・3/24）等でのご意見・ご要望

再編にはメリット・デメリットがあると思うが、その具体的な内容を示してもらい、それでも再編が必要であることを示してもらいたい。

メリット	デメリット
友達の数が増えることが期待できます。児童数が増えることで、気の合う友達を増やせたり、同じ趣味・趣向の友達に新たに出会えたりする場合があります。	今までよりも人数が多くなる分、発表の場面で、なかなかあててもらえないと感じる場合があります。
活動の幅が広がります。球技など人数がいないと成立しなかったスポーツが可能になります。また、合唱でパート分けが可能になり、ハーモニーの楽しさを味わえます。	「1対1」で先生と関われる時間が、今までよりも人数が多くなる分、少なく感じる場合があります。
より多くの友達と関わることで、多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れやすくなります。友達の良いところの刺激を受ける機会が増えたと感じる場合があります。	係活動や給食当番など、学校生活の進め方が変わることで、戸惑いを感じる場合があります。
学習において、友達のいろいろな解き方や自分では思いつかなかった発想に出会える場合があります。	通学時間が長くなることで、家から出る時間や家に帰ってくる時間が変わってくるため、余暇や家庭学習に使っていた時間が減ったと感じる場合があります。

再編が必要な理由

小規模校には、一人一人に目が届きやすい良さがあり、また先生からの手厚い支援を受けたいという思いも理解していますが、前述のとおり、教育委員会が推進する適正規模化は、「日常的に多様な他者と関わる環境」が子どもたちの健やかな成長に不可欠であるという考え方に基づいています。

多様な他者と自然に触れ合い、関わり合いの中で学ぶ経験が、思考力や社会性を育む土壌となります。そのためにも、日常の場で豊かな人間関係を築ける環境を保障することで、将来、他者と協働して課題を解決していく力が養っていただけるものと考えています。



前回説明会（3/23・3/24）等でのご意見・ご要望

【通学関係】

登下校の事故やトラブルについては、教育委員会が保障してくれるのか。

登下校の事故やトラブルについては、教育委員会で保障することはできません。登下校の安全確保については、ご家庭と学校・地域が連携しながら、事故の起きない環境作りが大切だと考えており、通学路の安全点検や、地域の方の見守り体制の充実等により、リスクを減らす取り組みを進めます。



【交通安全教室】

事故等の発生時の保障

通学時での事故等の場合には、多くの方がご加入いただいている日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」の保障となります。適用される事例の一部を参考までに記載しています。

【給付の対象となる範囲】

① 学校の授業を受けている場合	各教科（科目）、学級活動 etc
② 学校の課外指導を受けている場合	部活動、林間学校 etc
③ 休憩時間中	始業前、昼休み、放課後 etc
④ 通学	通常の経路での登下校中

※ 負傷、疾病、障害など災害の種類によって、給付対象となる条件や給付金額等が異なります。

前回説明会（3/23・3/24）等でのご意見・ご要望

前回の資料で赤線部分が通学路となる予定と明示されているが、現在工事している橋（玉野市道浜屋北浜線（西田井地）の橋の一部）が完成すれば、交通量が増大することが予測されるため、その安全対策はどのようなのか。

当該箇所については、現在通行止めをして、橋梁の修繕工事を行っていますが、車線を増やすといった工事ではないため、工事完了後、通行止めを解除した場合においてもこれまで以上に交通量が増大することはありません。



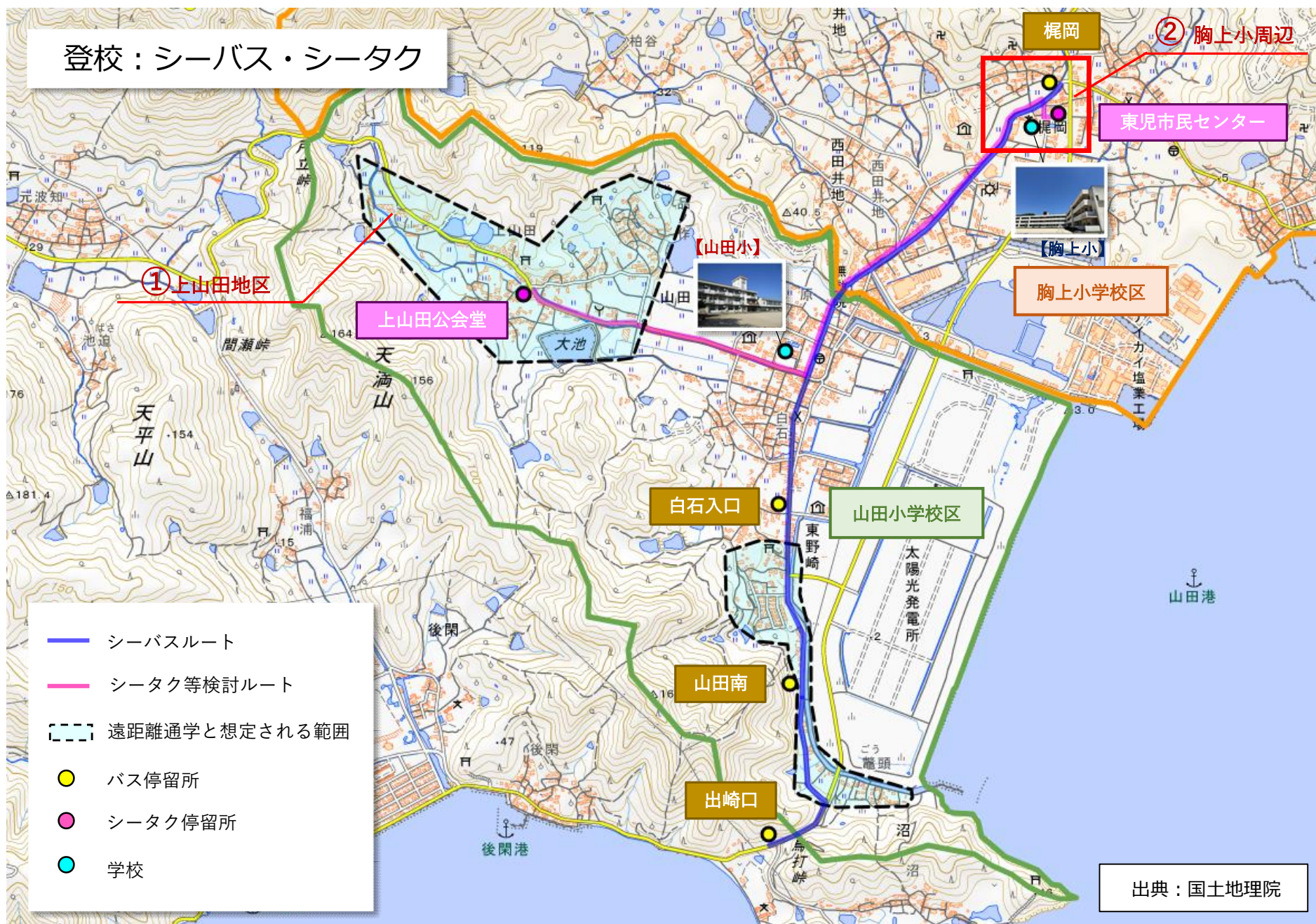
胸上小へは車での送り迎えは可能なのか。

けがをしたときや、様々な事情により保護者の車で送迎をする場合は、各学校に相談していただくことになります。

胸上小においても、同様の対応となりますので、各家庭の具体的な状況について、学校にお伝えいただき、相談していただければと思います。



登下校におけるシーバス・シータクのルート及び時間帯（想定）



シーバスルート

— の道路をシーバスで送迎する。

シータク検討ルート

停留所までの距離が離れている上山田地区 (①) については — の道路をシータク等での送迎を検討。

降車後の徒歩ルート

梶岡バス停、東児市民センターから胸上小校門までは徒歩で通学する。

— 想定ルート (徒歩 5 ~ 10分程度)

— 想定ルート (徒歩 5 程度)

【シーバス時刻表】

登校	出崎口	7:57
	山田南	7:58
	白石入口	7:59
	梶岡	8:03

② 胸上小周辺拡大図



下校時間については、学年や曜日によって変動します。そのため、現在、想定している下校時間に対応したシータクの時刻表は次のとおりとなります。なお、シータクへの乗車時刻は、学校と事業者が調整します。乗車人数によって、上山田方面と出崎口方面を1台で運行するパターンもあります。

【出崎口方面】

下車場所	下校パターン①	下校パターン②	下校パターン③	下校パターン④
東児市民センター	14:40	15:00	15:30	15:50
白石入口	14:44	15:04	15:34	15:54
山田南	14:45	15:05	15:35	15:55
出崎口	14:46	15:06	15:36	15:56

【上山田方面】

下車場所	下校パターン①	下校パターン②	下校パターン③	下校パターン④
東児市民センター	14:40	15:00	15:30	15:50
上山田公会堂	14:45	15:05	15:35	15:55

Googleフォームからのご意見・ご要望（3/23～4/10投稿分）

【その他】

- 説明会にくる人は反対派の人ばかりで、何度説明したところで納得はしないと思う。逆に賛成派、統合は致し方ない、どちらでもいいという人は説明会には行かない。もう同じ人が同じような反対意見しか言わないので説明会に行かなくてもいいかなと思うようになってしまった。早く統廃合するのか決定を出してほしい。
- 何度説明会に足を運んでも、納得できないので反対。参加すればするほどわが子の教育を任せておけないと感じる。子どものこと、地域のことを考えるとデメリットが多すぎる。全ての意見を削らずに表に出してほしい。第2回の内容やそこででた意見を周知してほしい。
- 統合賛成。もう説明し尽くされたと思うし、これから準備委員会で決めていくことの方が多いと思うので、早く進めてほしい。説明会に来ていないということは、賛成、致し方ないという意見の方々がほとんどだと思う。
- 統合賛成。時代である。ここ数年で再編をしなければならないと以前の会長さんが話を進めてくれていたのに。山田小は2人の学年もあり、すでに胸上小に通っている子も何人かいるので早く統合を進めるべき。

Googleフォームからのご意見・ご要望（3/23～4/10投稿分）

【その他】

- 山田小の雰囲気は穏やかで良い学校だと思うが、長い目で見たときに子供たちがどのような環境で学ぶのが良いのか考えた方がよい。将来、社会に出た時に困らないようにするために、いろんな人がいることやその中で自分がどう振る舞っていくのかを小さなうちから学んでいくことが大事である。統合に賛成する。
- 統合賛成の人はたくさんいるのに説明会にくるのは反対派の人ばかりで、意見が伝わっていないのではないかと心配している。説明会にいったとしても、肯定的な意見は、怖くて言えないとみんなが言っている。既に胸上小に入学している子もいるため、予定通りに進めてもらわないと困る。
- 山田小総意として陳情書が出されていることに違和感がある。一部の方の反対意見がみんなの意見のように伝わっていてそれが嫌である。説明会では、揚げ足取りのような反対意見が述べられ、賛成意見を言えない雰囲気になっており、みなさん説明会に行きたくなくなっているようである。反対運動のやり方にも疑問がある。声を上げられない保護者がたくさんいることも知ってもらいたい。
- この計画に強く反対する。今の環境に私も子どもも何の不満もない。